

(理工学部：理工学科 情報光システムコース)

カリキュラム・ポリシー

情報光システムコースでは、情報工学、知能工学及び光工学の知識と技術を活かして創造性を発揮し、イノベーションを創出できる人材の育成をめざす。また、地域社会に知識と技術を還元できる人材、及び世界規模の産業構造や社会経済の変化に柔軟かつ的確に対応し、グローバルに活躍できる人材の育成をめざして、以下のようなカリキュラムを編成している。

1. 学ぶことに対する興味と意欲に溢れる人材を育成するため、豊かな人格と高い倫理観を身につけ自発的に学習する態度を養う教育を行う。
2. 事象や課題を論理的に解析できる分析力と探究力をもつ人材を育成するため、理学的素養の上に情報工学・知能工学・光工学の基礎知識を十分に理解させる教育を行う。
3. 自ら問題を解決し、その方法と過程を表現できる人材を育成するため、情報工学・知能工学・光工学の専門知識による問題解決力と表現力を養う教育を行う。
4. 確かな知識に基づいて地域社会や国際社会に貢献できる人材を育成するため、情報工学・知能工学・光工学の諸問題に、科学技術を広く俯瞰して柔軟に対応できる自律的応用力と創造力、さらにチーム内での自分の役割を理解し協調的に課題を解決できる能力を養う教育を行う。

【学修成果の到達目標】	【学修内容・学修方法及び学修成果の評価方法】
<p>1. 知識・理解</p> <p>(1)数学、自然科学および情報工学、知能工学、光工学の専門的知識に基づき、複数の理学と情報工学、知能工学、光工学分野を組み合わせて問題を解決できる。</p> <p>(2)複数の理学と情報工学、知能工学、光工学の専門的知識・技術を活用して情報・光システム全体を俯瞰できる。</p>	<p>【学修内容】 教養教育科目における基礎基盤教育科目群、専門教育科目における数学、自然科学および複数の理学分野を幅広く学ばせるとともに、情報工学、知能工学、光工学の専門的知識を深く身につける学修を実施する。</p> <p>【学修方法】 教養教育科目における講義等、専門教育科目における講義及び演習・実習・実験等による、アクティブラーニングを取り入れた教育。</p> <p>【学修成果の評価方法】 試験等によって到達度を客観的に評価する。</p>
<p>2. 汎用的技能</p> <p>(1)系統的な専門教育課程のもとで情報、知能、光の科学技術に関わる課題を創造的に見出し、与えられた制約のもとで論理的に問題解決できる。</p> <p>(2)日本語による論理的な記述力、口頭発表力、討議などのコミュニケーション能力及び国際的文化を理解し、国際的に通用するコミュニケーションができる。</p>	<p>【学修内容】 教養教育科目における外国語教育科目群、専門教育科目における技術英語系科目の履修を通じて、国際的に通用するコミュニケーション能力を身につける学修を実施する。 また、系統的な専門教育科目の履修を通じて、論理的な記述力、口頭発表力、コミュニケーション力を身につけ、与えられた制約のもとで論理的に問題解決できる能力を養う学修を実施する。</p> <p>【学修方法】 教養教育科目における講義等、専門教育科目における講義及び演習・実習・実験等による、アクティブラーニングを取り入れた教育。卒業論文の作成の指導。</p> <p>【学修成果の評価方法】 試験、レポート、実習への能動的参加状況等によって到達度を客観的に評価する。卒業論文は審査によって評価する。</p>
<p>3. 態度・志向性</p> <p>(1)科学技術に携わるものとして、幅広い視野で社会的責任と倫理観を絶えず意識しながら個々の使命感を持って自律的に行動できる。</p> <p>(2)常に目的意識を持って継続的、自主的に学習でき、独自の工夫やアイデアにより新しいものを創出できる。</p>	<p>【学修内容】 教養教育科目における「技術者・科学者の倫理」、専門教育科目におけるチーム作業を伴う教育を通じて、豊かな人格と高い倫理観を身につけ自発的に学習する態度を養う学修を実施する。</p> <p>【学修方法】 教養教育科目における講義等、専門教育科目における講義及び演習・実習・実験等による、アクティブラーニングを取り入れた教育。卒業論文の作成の指導。</p> <p>【学修成果の評価方法】 試験、レポート、実習への能動的参加状況等によって到達度を客観的に評価する。卒業論文は審査によって評価する。</p>
<p>4. 統合的な学習経験と創造的思考力</p> <p>(1)現状の情報・光システムにおける社会的課題を分析し、複数の専門的知識・技術を統合して解決し、その成果を社会に還元できる。</p> <p>(2)情報技術、光技術の関連分野のみならず、システム設計の能力を活かせる各分野で柔軟かつ幅広く活躍できる能力をもち、国内外の社会に貢献できる。</p>	<p>【学修内容】 チーム作業を伴う科目、創成型科目の履修を通じて、科学技術を広く俯瞰して柔軟に対応する応用力と創造力、チーム内での自分の役割を理解し協調的に課題を解決できる能力を養う学修を実施する。</p> <p>【学修方法】 講義及び演習・実習・実験等において、チームで問題解決にあたる教育。卒業論文の作成の指導。</p> <p>【学修成果の評価方法】 試験、レポート、実習への能動的参加状況等によって到達度を客観的に評価する。卒業論文は審査によって評価する。</p>